

掘ったほ!

下関2024

2024
9.14 SAT
▼
11.24 SUN

み
視て!さわって!
探究しよう!!



第1部
モノを
み
視る



土師器 (小型丸底壺)
[秋根遺跡出土]



土師器 (皿)
[伊倉遺跡出土]

第2部
モノを
し
識る



軒平瓦
[長門国府跡 (宮の内地区) 出土]

第3部
モノを
さぐ
探る



み
視る



+



さわる

◆ 展示解説会 ◆
.....◆◆◆.....
会期中の以下の時間で適宜実施
①10時30分~
②13時~
③15時~ ※各回30分程度
◆ ※要事前予約 (詳細は当館公式ホームページをご覧ください) ◆



下関市立考古博物館

所在地: 〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡454番地 / TEL 083-254-3061 / FAX 083-254-3062
開館時間: 9時30分~17時00分 (入館は16時30分まで) / 休館日 毎週月曜日

※詳細は、当館公式ホームページをご覧ください。

発掘速報展「掘ったほ！下関」は、下関市の最新の埋蔵文化財情報をいち早く市民の皆様にお届けする展覧会です。第22回目となる今回は、令和5年度に調査を行った3遺跡の調査成果についてご紹介します。

また、今回はこれまでどおりの視る展示とともに、さらに五感に訴える新たな展示に挑戦します。3Dものづくり技術により作製した「さわる考古資料」に実際に触れて、視るだけでは解らない考古資料の奥深さを体験していただきます。

第1部
モノを
み
視る

令和5年度の調査の中から、秋根遺跡、伊倉遺跡、長門国府跡(宮の内地区)の調査成果を紹介します。

【調査成果の概要】

○秋根遺跡

弥生時代の土坑や柱穴、古墳時代の竪穴建物跡や柱穴、中世の土坑など3時期の遺構を確認し、古墳時代の土師器(丸底壺)などが出土しています。

○伊倉遺跡

弥生時代の土坑(土器溜まり)から、大量の弥生土器の破片が出土しています。また、中世の石組井戸や柱穴などの遺構を確認しました。

○長門国府跡(宮の内地区)

古代末から中世前期頃の柱穴を主体とする濃密な遺構を確認しました。特に注目すべき遺構として、土師器の皿を埋納したうえで、上部を平瓦で蓋をした土器埋納遺構があります。



弥生時代の土坑
【秋根遺跡】



土坑(土器溜まり)
【伊倉遺跡】



土器埋納遺構
【長門国府跡(宮の内地区)】

第2部
モノを
し
識る

展示資料をじっくり視ながら、箱(触察ボックス)の中の考古資料をさわってみてください。

学芸員が示す「さわりどころ」も参考にしながら、視るだけでは分からない考古資料のディープな部分にふれてみましょう！

第3部
モノを
さ
探る

触察ボックスに入った「ナゾの考古資料」を探ってみましょう。指先の感覚を研ぎ澄まし、その正体にたどり着くことはできるでしょうか!?



①展示解説会

- 実施日：会期中の以下の時間で適宜実施
※休館日(月曜日)を除く
- 時間：①10時30分～②13時～
③15時～(各回30分程度)
- 定員：各回5名程度
- 申込み：事前予約(TEL:083-254-3061)
※来館時に博物館受付に申し出た場合、可能な場合は対応します。
- 展示遺跡の解説はもちろん、新たな取り組みとなる「さわる考古資料」について、学芸員とコミュニケーションを取りながら、より細部の特徴に気付くことができます。

②文化財講座

- 実施日：令和6年9月21日(土)
講師：小林善也(当館学芸員[主任])
令和6年10月19日(土)
講師：阿南翔悟(当館学芸員[副主任])
- 内容：下関市立考古博物館学芸員が、それぞれの専門テーマでお話しします。
- 時間：①10時30分～12時
②14時～15時30分
- 場所：下関市立考古博物館 講堂
- 参加費：300円
- 定員：各回30名
- 申込：開催日前日17時までにHPで(先着順)

